

【AD カード】

- ◆AD カードは、入館時、招集時、賞状受取など、常時必要となります。AD カードが無いと招集所に入る事ができず、競技に出場することができません。
AD カードの紛失、お忘れの場合は、大会受付にて再発行可能です。(有料)
- ◆AD カード及び付添票は、撮影許可証を兼ねています。撮影時は見える位置に携帯してください。
ただし、1階プールサイド全面での撮影はできません。
- ◆泳ぎ終わった後は、AD カードの取り間違え、取り忘れが無いように十分ご注意ください。
- ◆AD カードを含む、全ての落とし物、お忘れ物は、2階大会受付にて保管、お預かりいたします。

【ウォーミングアップ、アッププール】

- ◆メインプール水深 2m、アッププール水深 5m、水深調整台の設置はありません。
- ◆使用可能な練習用具は、キックボードのみです。
- ◆メインプール、アッププール共通で、ダッシュレーン以外での飛び込みは禁止です。
- ◆ダッシュレーン、公式スタート練習は、両側から 20m までの一方通行です。
- ◆23(土)No.9 男子 50m 平泳ぎ終了後、開始式が終了するまでは、アッププールの利用はできません。

【競技上の注意】

- ◆競技は、(一社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り実施します。
- ◆スタートは、50m 種目は大型映像装置側、100m、200m 種目とリレー種目はダイビングプール側から行います
- ◆泳ぎ終わった選手は、レーン内でロープにつかまり待機してください。次の組がスタート後、競技役員の指示に従い、1レーン及び 10レーン側へ移動して退水してください。
- ◆リレー種目の第 2 泳者以降の泳ぎ終わった選手は、競技役員の指示に従い、他の選手の妨げにならないように退水してください。
- ◆エントリータイムと競技結果が大幅に異なる場合は、(一社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り、記録が公認されない場合があります。(インターフェア行為と判断されることがあります。)
- ◆バックパネル付スタート台及びバックストロークレッジを使用します。バックパネルの調整及びバックストロークレッジの高さ調整は、レーンに入ったら直ぐに選手ご自身で行ってください。スタートの合図後に調整を行い、スタートを遅らせたと判断された場合は失格となる場合があります。

【水着の規定】

- ◆(一社)日本マスターズ水泳協会ホームページにて公表されている水着規定(※別紙参照)及び、競技規則に準じます。

【招集の注意】

- ◆招集時に AD カードの QR コードを読取ります。QR コードが読取り易いようにご提示ください。
リレー種目は、第 1 泳者から泳ぐ順番に読取りが必要です。予め泳順に並んで招集所へお集まりください。
- ◆50m 種目は 8 組前、100m 種目は 5 組前、200m 種目は 3 組前を目途に招集所へお集まりください。
- ◆招集所にて QR コードの読取りを受けないと、いかなる場合でも出場できず失格となります。

【申請、申告】

◆以下に該当する方は、出場種目開始予定時間の1時間前までにリゾリユーションへ申告ください。
事前申告された方で当日確認の連絡を受けているは、リゾリユーションへお越しく下さい。

①テープ等をされる方。＜審判長の確認が必要です＞

※審判長が使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でお越しく下さい
(関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は許可できません)。

②障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方＜審判長の確認が必要です＞

※申告内容の確認をします。診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。

③出場に介助が必要な方

※チームにて介助者の対応をしてください。招集所からスタート席まで介助可能ですが、スタートの介助はできません。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

④リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

※申告がなく水中からスタートした場合は失格となります。

※第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界新記録の公認はされません。

⑤世界記録挑戦時にレース中の挑戦コールを希望する方

【世界記録、日本記録、チーム表彰】

◆世界新記録を樹立した選手は、競技を一時中断しメインプールにて表彰を行います。

◆日本新記録を樹立した選手は、表彰所にて日本新記録樹立証を授与いたします。

◆本大会はチーム対抗戦です。得点は、「大会当日のご案内」に記載の通りです。

◆1位～3位までのチーム及び最優秀選手・優秀選手を、閉会式にて表彰します。表彰対象者のチーム責任者のお呼び出し又は連絡をしますので、予めご了承ください。

【違反内容の問合せ、異議申し立て(抗議)】

◆失格理由が知りたい選手は、ランキングに公表された失格コードをご確認の上、失格理由一覧にて失格理由をご確認ください。詳細が知りたい場合は、リゾリユーションにて指定用紙をご記入の上ご提出ください。(選手本人可)

◆失格理由に納得がいかない場合、抗議することができます。ただし、競技規則に準じ明らかな事実に対する抗議は認められません。

◆抗議は、選手本人が行うことはできません。所属チームの責任者が、競技規則に従いリゾリユーションへ抗議書と抗議料(10,000円)を添えてご提出ください。

◆抗議に対する対応は、競技規則に則り対応いたします。

【健康管理】

◆大会期間中の健康管理は本人の責任とし、ご自身の体調には十分留意してください。

◆会場内で体調不良や怪我をした場合は、医務室またはプールサイド救護席にお申出ください。

◆大会医務委員により出場停止を勧告された場合は、その指示に従ってください。

【施設利用上の注意】

◆「大会当日のご案内」をご確認の上、マスターズスイマーとして、ルール、マナーを守り施設を大切に利用してください。重大なルール違反や競技役員の指示に従わないなど場合は、今後の本大会出場を認められないなどの措置を取らせていただく場合があります。

水着の取り扱いについて

<WORLD AQUATICS 規定の概要>

- 形状：水着が身体を覆う範囲
 - ① 男性はへそを超えず、膝までとする。
 - ② 女性は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
- 素材は繊維のみとする。
- 重ね着は、禁止とする。着用できる水着は1枚のみとする。



見本：承認マーク

WORLD AQUATICS に承認された水着には、承認マークが水着に付いています。

※ WORLD AQUATICS 主催の大会では WORLD AQUATICS の承認した水着を着用しなければなりません。
また、水泳用インナーショーツ（サポーター）などのモディスティースーツ（不適切な露出を下げることを目的とした水着）、女性用インナーパット（カップ）などの使用は認められません。

<国内規定>

国内で行われる本協会公式・公認競技会・公認記録会においては、水着の規定を次のとおりとします。

- WORLD AQUATICS への世界新記録の申請、日本新記録の公認については、有効な承認マークが付いた水着を着用して泳いだ記録のみを対象とする。（水着の確認を行う）
- 素材については、繊維を中心とした水着とする。ラバーおよび大きなパネル（空気を通さない素材）が貼ってある水着は、禁止とする。
- 形状については、水着が身体を覆う範囲を次のとおりとする。
 - ① 男性はへそを超えず、膝までとする。
 - ② 女性は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
- WORLD AQUATICS の承認を受けていない水着でも使用可能とする。ただし、素材、形状については、上記2項、3項を守ること。
- 重ね着は禁止とし着用できる水着は1枚とするが、水泳用インナーショーツ（サポーター）などのモディスティースーツ（不適切な露出を下げることを目的とした水着）、女性用インナーパット（カップ）などの使用は認める。

※ 水着の改造は禁止です。

※ 怪我によって必要な場合、1本または2本の手の指、足の指にテーピングをすることは認められますが、審判長による承認を受ける必要があります。また、審判長の承認がなければ他の身体上のいかなるテープも許されません。

※ 高速水着と称される身体の締め付けがきつい水着を着用したスイマーの、大会会場での体調不良が多数報告されています。このような水着を着用する場合は、長時間の着用を避け、また自身の体調管理をしっかり行ってください。

国内大会	世界記録・日本記録の公認	世界記録・日本記録に該当しない選手
水着の規定	・ WORLD AQUATICS 承認水着を着用すること。	・ WORLD AQUATICS 未承認の水着も着用できる。ただし、形状・素材は規定を満たすこと。 ・ インナー、パットの着用も可能。
禁止事項	・ WORLD AQUATICS 未承認の水着の着用。 ・ 水着の重ね着。 ・ インナー、パット等の着用。	・ 規定の形状、素材を満たさない水着の着用。 ・ 水着の重ね着。
その他	・ ゴーグル、キャップ、鼻栓、耳栓は使用可能。	